

2026年9月2日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 須藤 正樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 宇都 克裕
(TEL. 052-446-6100)

TRPV4 拮抗薬（ピリミジン-4(3H)-オン誘導体）の韓国における特許査定のお知らせ

当社が創出した TRPV4 ^(※1)拮抗薬（ピリミジン-4(3H)-オン誘導体）の物質特許（出願番号 10-2022-7040115）はこれまで韓国で審査中でありましたが、本日、特許査定^(※2)の連絡を受けましたのでお知らせいたします。

今回特許査定を受けたピリミジン-4(3H)-オン誘導体は、TRPV4 拮抗作用を有する新規な化合物群です。以前に特許査定を受けていた中国、日本、欧州及び米国に続き、韓国においても特許査定に至ったことで、5 大特許庁^(※3)のすべてから特許査定を受けることとなりました。これにより、当社の知的財産権が一層強化される事となりました。

当社が創出した TRPV4 拮抗薬は、TRPV4 イオンチャネル受容体に対して特異的に作用し、複数の疼痛・炎症及び眼疾患モデル動物において高い有効性を示すことが確認されています。当社は、2016 年より、岐阜薬科大学（本部：岐阜県岐阜市、学長：原 英彰）との間で、眼疾患に関する産学共同研究を開始し、2021 年 4 月に岐阜薬科大学内に共同研究講座を設置^(※4)いたしました。当社と岐阜薬科大学薬効解析学研究室 嶋澤 雅光教授らの研究グループが実施した共同研究の成果につきましては、2023 年に、TRPV4 を標的とした新規治療薬が網膜疾患における網膜血管障害の新たな治療オプションとなる可能性を示す内容の論文を発表^(※5)し、2025 年の第 45 回 日本眼薬理学会では後眼部疾患に対する低分子創薬アプローチとして当社の TRPV4 拮抗薬が紹介されています。

今回の TRPV4 拮抗薬は、当社の強みであるイオンチャネル創薬の成果であり、今後も知的財産のポートフォリオの強化・充実に努めてまいります。なお、本特許査定により、2026 年 12 月期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の当社業績への影響はございません。特許査定を受けたピリミジン-4(3H)-オン誘導体は、今後の開発等を通じて、中長期的に当社の企業価値の向上に寄与するものと考えています。

以 上

〔用語解説〕

※1 TRPV4 について

TRPV4（正式名称：Transient Receptor Potential Vanilloid 4）は 2021 年のノーベル生理学・医学賞の受賞対象である温度感受性 TRP イオンチャネルの一つで、体温付近の温かい温度、浸透圧変化、力学的な変形によって活性化されることから、環境センサーとしての役割が注目されており、

様々な疾患への関連が報告されています。

※2 特許査定について

各国特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を納付することによって、登録特許となり、該当する国において特許権が発生することになります。

※3 5大特許庁：日本国特許庁（JPO）、米国特許商標庁（USPTO）、欧州特許庁（EPO）、中国国家知識産権局（CNIPA）、韓国特許庁（KIPO）の5庁で構成され、5庁への特許出願（約318万件）は、2024年時点において、世界の特許出願件数（約373万件）の約85%を占めています。

※4 講座設置：「岐阜薬科大学との共同研究講座設置契約書締結のお知らせ」（2021年4月1日開示）

※5 論文発表：「TRPV4拮抗薬に関する論文発表のお知らせ」（2023年2月24日開示）